

平成29年度地方創生関連交付金活用事業 検証結果

	地域再生計画		重要業績評価指標 (KPI)				達成状況・評価	【参考】 総合戦略に おける 基本目標と数値目標	
	計画名 (計画期間)	事業名	事業概要	指標名	指標値	目標 期間			実績値
1	栃木市中小企業・小規模企業の『稼ぐ力』再生計画 (H28～H30年度)	中小企業・小規模企業の総合支援プロジェクト	市内中小企業・小規模企業の持続的発展とともに、意欲ある事業者の成長を促すため、事業者の自助努力と共に、官民が一体となって各種支援策を展開することで、事業者を地域全体で育て、支援していくことを目指す。	① 新規創業者数	8 件増	H29年度	5件増	達成状況及び今後の取組方針 新規創業者数については、ビジネスプランコンテスト受賞者のほとんどが創業に至ったものの、目標値はわずかに未達となった。また、市内中小企業・小規模企業法人市民税法人税割額については、地方法人税(国税)の創設に伴う税率の引き下げの影響もあり、目標値は未達となった。 今後も継続してビジネスプランコンテスト等の創業支援により新規創業者の増を目指すとともに、事業者に対する経営支援、就労支援等を行い、企業の稼ぐ力の強化を図る。	(基本目標1) 雇用を生み出し、安心して働けるようにする (数値目標) ・新規創業者数:5年間で490人増 ・工業製品等出荷額:5年間で50億円増
				② 市内中小企業・小規模企業法人税割額	10,000 千円増	H29年度	3,099千円増		
					29,000 千円増	H28～H30	115,605千円減		
		③							
		④							
	活用交付金	平成29年度取組							
	地方創生推進交付金	<ul style="list-style-type: none"> ・創業支援としてビジネスプランコンテストを開催した。 ・経営支援として産業財産権の取得費補助を行った。 ・就労支援として中高年面接会を初めて開催したほか、就活フェスや講演会を開催した。 ・栃木市中小企業・小規模企業振興審議会を開催し、「栃木市中小企業・小規模企業振興ビジョン」の検討を行った。 	⑤						
2	小江戸・栃木市の新名物「とちぎ江戸料理」を活用した観光まちづくり再生計画 (H29～H31年度)	小江戸・栃木市の新名物「とちぎ江戸料理」を活用した観光まちづくりと誘客促進プロジェクト	「とちぎ江戸料理」を本市の名物として市民に定着させ、国内外から観光客を誘致するために、各種事業を実施することで、本市での滞在時間や観光消費額を増加させるとともに、小江戸として観光まちづくりを推進している本市における相乗効果での誘客促進を図るとともに、交流人口の増加を目指す。	① 観光消費額	75 円増	H29年度	946円増	達成状況及び今後の取組方針 観光客入込数の指標値は未達ではあるが、それ以外の指標は指標値を上回る実績値となっている。広報誌「めつけ」の発行や、テレビや雑誌等へのメディア露出が増えたこともあり、「とちぎ江戸料理」の認知度は向上していると感じており、引き続きPRを行うとともに、新たなメニューの開発や参加店の拡大等平行して行い、本市への誘客促進を図っていく。	(基本目標2) 本市への新しい人の流れをつくる (数値目標) ・転入者:5年間で1,000人増 ・年間観光客入込数:5年間に617万人
				② 観光客入込数	100,000 人増	H29年度	45,775人減		
					450,000 人増	H29～H31	45,775人減		
		③ 外国人宿泊者数	300 人増	H29年度	682人増				
			900 人増	H29～H31	682人増				
	活用交付金	平成29年度取組							
	地方創生推進交付金	<ul style="list-style-type: none"> ・プレデスティネーションキャンペーンにあわせて、JRとコラボレーションし駅弁の開発・販売を行った。 また、事業PRのために広報誌「めつけ」を年5回発行。 その他江戸料理まつりの開催等を行った。 	④						
			⑤						

平成29年度地方創生関連交付金活用事業 検証結果

	地域再生計画		重要業績評価指標 (KPI)				達成状況・評価	【参考】 総合戦略に おける 基本目標と数値目標	
	計画名 (計画期間)	事業名	事業概要	指標名	指標値	目標 期間			実績値
3	Tochigi Edo style 歌麿の愛したま ち「とちぎ」新たな 魅力創造計画 (H29～H31年度)	Tochigi-Edo style 歌麿の愛したま ち「とちぎ」新たな 魅力創造プロジェ クト	蔵の街並みを活かしたタウンウエディングや喜多川 歌麿の浮世絵を活かした浮世絵刷り体験など、本市 の地域資源である江戸文化を五感で楽しめる事業を 展開することで、新たな魅力を創造するとともに、国 内外に情報発信し、交流人口の増加及び新たな人の 流れを創出する。	① 観光客入込数	100,000 人増	H29年度	45,775人減	達成状況及び今後の取組方針 観光客入込数の指標値は未達となったが、それ以 外の指標では、目標値を大きく上回る実績値となっ た。デスティネーションキャンペーンや田舎暮らしの 本の住みたい田舎で上位にランキングされたことな ど、本事業以外の要因もあったと思われるが、概ね 目標を達成できたと考えられる。 今後は、模擬結婚式の様子を撮影した動画を市 ホームページで公開するなど、地域資源を活かした タウンウエディングの普及を図ると共に、江戸文化を 活用した新たな取り組みを検討し、引き続き交流人 口の増加を図る。	(基本目標2) 本市への新しい人の流 れをつくる (数値目標) ・転入者:5年間で1,000 人増 ・年間観光客入込数:5 年後に617万人
				② 外国人観光客宿泊者 数	75 人増	H29年度	682人増		
				③ UIJターン相談件数	20 件	H29年度	206件		
		④	120 件	H29～H31	206件				
		⑤							
	活用交付金	平成29年度取組							
	地方創生 推進交付金	江戸文化体験モデルツアーとタウンウエディングの 普及を目的とした模擬結婚式を実施した。							
4	【広域連携(県及 び市内全市町)】 ツール・ド・とちぎ を核とした地方創 生推進計画 (H29～H31年度)	【広域連携(県及 び市内全市町)】 ツール・ド・とちぎ を核とした地方創 生推進事業	国内初の取組となる県内全域を舞台とした国際 レース「ツール・ド・とちぎ」の継続的な開催を通じて、 県と県内全市町が連携した「自転車によるまちづく り」を進め、一層の観光誘客、地域活性化につなげて いく。	① 公営レンタサイクル 利用者数	1,096 人増	H29年度	5,558人増	達成状況及び今後の取組方針 栃木市内では、渡良瀬遊水地及び市内の公道を使用 してレースが開催された。会場においてPRブース 及び市内業者等による飲食ブースを設けたことで、 県内外からのレース観戦者に対してPRを行うことが 出来た。国際レースということで注目度が高いことか ら、本事業の実施により、自転車に対する機運醸成 に大きく寄与するものと考えられる。HP閲覧数等も 順調に目標を達成しているとともに、レンタサイクル 利用者数も順調に目標を達成している。 今後も継続してレースを実施することで、更なる認 知度の向上が見込まれることから、引き続き事業を 実施していく。	栃木県版まち・ひと・しごと 創生総合戦略 【とちぎ創生15(いちご) 戦略】 (基本目標) とちぎに安定したしごと をつくる (数値目標) 観光消費額:6,530億円 (平成31年) 外国人宿泊者数:27.4万 人(平成31年)
				② ツール・ド・とちぎ公 式HP閲覧回数	9.4 万回増	H29年度	13.07万回増		
				③ 外国人宿泊者数	28.4 万回増	H29～H31	13.07万回増		
		④ 観光消費額	43 千人増	H29年度	41千人増				
		⑤	93 千人増	H29～H31	41千人増				
	活用交付金	平成29年度取組							
	地方創生 推進交付金	栃木市では、渡良瀬遊水地及び市内の一部でレー スを実施した。							

平成29年度地方創生関連交付金活用事業 検証結果

	地域再生計画	地域再生を図るために行う特別措置適用事業		重要業績評価指標 (KPI)				達成状況・評価	【参考】 総合戦略に おける 基本目標と数値目標
	計画名 (計画期間)	事業名	事業概要	指標名	指標値	目標 期間	実績値		
5	栃木市渡良瀬遊水地ハートランド活動拠点化計画 (H28～2020年度)	栃木市渡良瀬遊水地シンボル施設整備事業	渡良瀬遊水地に隣接する本市の施設を活用し、遊水地ガイドやその指導者の育成拠点となる研修設備を整備するとともに、ヨシ紙や葦管作成の技術を継承する人材育成・確保を行うために体験設備を整備する。また、遊水地に関する資料を豊富に有する(一財)渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団と連携してガイド育成講座を実施し専門的な知識を備えた人材を育成する。	① 渡良瀬遊水地における観光消費額	15,790 千円増	H29年度	114,920千円減	達成状況及び今後の取組方針 これまで渡良瀬遊水地の魅力を伝えるボランティアガイドの育成を行い、現在48名の方が「渡良瀬遊水地ガイドクラブ」として活動している。平成30年度からは遊水地内での活動に加え、土日・祝日は施設に常駐し案内や説明を行っている。 また、遊水地を代表するヨシを使ったヨシ細工の指導スタッフを育成し、各種イベントや学習会において参加者にミニヨシづくり等を指導するなど、ヨシの利活用と普及活動を行っている。 平成29年度の指標値はすべてにおいて未達であったが、施設をこうした人材の活動拠点として事業を継続して行い、遊水地の様々な魅力を伝えていく。	(基本目標2) 本市への新しい人の流れをつくる (数値目標) ・転入者:5年間で1,000人増 ・年間観光客入込数:5年後に617万人
				② 渡良瀬遊水地の観光客入込数	10,000 人増	H29年度	72,780人減		
				③ ヨシを使った製品の開発数	1 個	H29年度	0個		
		④							
		⑤							
		活用交付金	平成29年度取組						
		地方創生拠点整備交付金	渡良瀬遊水地の総合的な案内機能もち、各種の人材育成・活動の拠点となるシンボル施設を整備した。						
6	栃木市子どもの居場所づくり拠点整備計画 (H29～2021年度)	栃木市子どもの居場所づくり拠点整備事業	「栃木市老人福祉センター 福寿園」を一部改修し、「要支援児童放課後応援事業」の実施拠点を整備し、要支援児童に対し生活習慣指導、簡単な学習指導等を行い、基本習慣を身に付けることで、健全な育成と自立を達成する。また、要支援児童と施設利用者間での交流を図るイベント等を開催し、多世代の交流を推進する。	① 要保護・要支援児童案件の終結数	0 件増	H29年度	0件増	達成状況及び今後の取組方針 平成29年度は拠点整備を完了した。 平成30年度から要支援児童に対し生活習慣指導、簡単な学習指導等を行い、基本習慣を身に習得させ健全な育成と自立の支援を行うことにより、要対協案件の終結につなげる。 また、要支援児童と居場所づくりに関わる多世代間の交流を図り、老人福祉センター施設の価値を高める。	(基本目標3) 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる (数値目標) ・合計特殊出生率:5年後に1.43
				② 当該施設年間利用料収入額	0 千円増	H29年度	0千円増		
				③	650 千円増	H29～2021	0千円増		
		④							
		⑤							
		活用交付金	平成29年度取組						
		地方創生拠点整備交付金	「栃木市老人福祉センター 福寿園」を一部改修し、「要支援児童健全育成事業」の実施拠点を整備した。						